

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



あすなろ学園市町支援グループは
途切れのない支援システムの構築を推進しています

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなろ学園は多くの市町と協働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室(保健・福祉・教育の一元化室)・機能の設置
- ② 市町の保健・福祉・教育行政と協働した保育所・幼稚園での早期発見・支援
発達チェックリスト(CLM)と個別の指導計画の普及定着 市町の療育システムの構築
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

DVD完成!

お待たせしました! ついに、完成!

早期支援のための発達チェックリスト CLM 4歳児クラス・5歳児クラス用

CLMと個別の指導計画作成の手順

あすなろ学園では、発達チェックリスト(CLM)の記入から個別の指導計画の作成までの一連の流れを説明したDVDを作成しました。保育所や幼稚園の日常の園生活の中で、担任の先生が簡単に取り組み、子どもの困り感に気づくことのできる発達チェックリスト(CLM)を活用して、担任が一人で悩むのではなく、園全体、市や町の関係者が集まって検討し、個別の指導計画を作成できる手順を説明しています。

このDVDは、具体的なイメージを描いてもらいやすいように、実演を織り交ぜています。平成23年度のみえ発達障がい支援システムアドバイザー研修者が出演しています。

来年度、DVD試写・説明会を開催し、活用していただけるよう準備を進めています。日程が決まり次第、お伝えしますので、ぜひ、ご参加ください。



DVDのジャケット



DVD撮影の様子

平成 23 年度 事業報告

< 目的 >

三重県に生まれ育つ子どもたちが、生涯にわたり、身近な市町で適切な支援が得られるような「途切れのない支援システムの構築」を各市町行政（保健・福祉・教育）に推進する。

< 具体的な取り組み >

1 市町の発達総合支援室・機能の設置

子ども問題の駆け込み寺としての機能を持つ発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）が市町の役所に設置されることを目指して、市長、町長、教育長への説明訪問、視察の同行、システム構築会議への参加などを行いました。既に機能を発揮している市町への視察は、県内だけでなく、県外の自治体からも依頼があり、三重県と各市町の取り組みを知っていただきました。



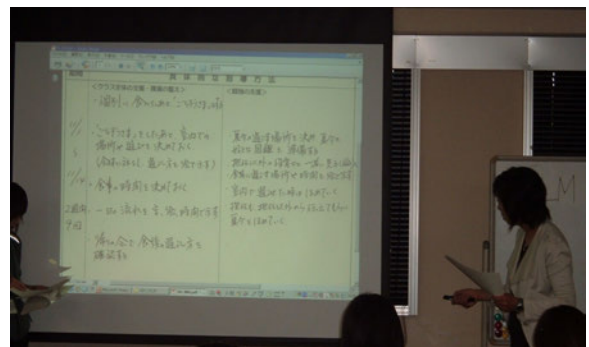
視察

2 早期発見・支援のために、保育所・幼稚園での「CLMと個別の指導計画」の導入

今年度は、みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修に職員を派遣した市町（5市町）と巡回研修希望市町（12市町）において、「CLMと個別の指導計画」作成検討会を、32園で75ケース実施しました。また、途切れのない発達支援研修会（ザ・夏）を6日間、開催し、保育所・幼稚園の先生方、約400名の参加がありました。さらに、保育所・幼稚園の核となる主任級の先生方に集まっていたいただき、特別支援保育コーディネーター育成研修会を2日間、行いました。これらの研修会では、「保育・教育に求められる目利き・腕利き」の講演と「CLMと個別の指導計画」を用いて、ワークショップを行い、指導計画の立て方を研修しました。



ワークショップの様子



グループで立てた計画の発表

巡回研修後に実施したアンケート結果の一部を報告します。子どもへの効果として、98%の方から効果があると評価していただき、さらに、保育士への効果として、「保育技術のスキルアップになった：36%」「職員同士で相談や検討をするようになった：28%」「気になる子の見方や対応ができるようになった：18%」との結果でした。子どもが毎日過ごしている保育所・幼稚園での適切な支援の輪が広がっています。

3 みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

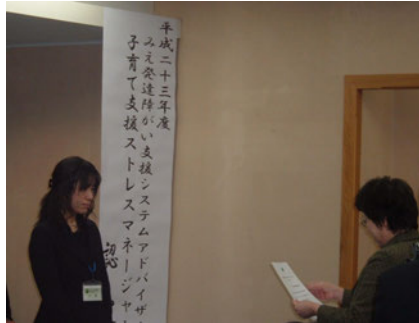
今年度は、5市町7名の保育士、教員が市町の使命を受けて、あすなる学園で1年間、研修を積みました。研修のまとめとして、3月14日に、研修者報告会を行いました。研修者は、あすなる学園の病棟、外来療育、デイケア、隣接するあすなる分校、県内市町の保育所、幼稚園への巡回研修等、様々な現場研修の中での気づきや学びをパワーポイントにまとめて報告し、市町に戻ってからの決意を新たにしました。



報告会

3月21日に、7名の研修者は、三重県より、「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」として、認定証を交付されました。太田こども局長より、激励の言葉をいただきました。

みえ発達障がい支援システムアドバイザーは、平成23年度末で、18市町37名(保育士：23名 保健師：4名 教員：10名)になりました。



認定式



認定式 研修を振り返って

そして、すでに地元市町で、活躍している「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」のうち3名が、「子育て支援ストレスマネージャー」として、認定証を交付されました

子育て支援ストレスマネージャー養成講座は、子育てに悩む保護者をサポートできる人材の育成を目指して、NPO法人えじそんくらぶと協働しています。



えじそんくらぶ高山先生との打ち合わせ

子育て支援ストレスマネージャーは、今年度末で、6市町6名(保健師：3名 保育士：3名)になりました。

平成24年度も、あすなる学園は、各市町と協働し、
三重県に生まれ育つすべての子どもに
途切れのない支援を目指していきます。

チェックリスト(CLM)から個別の指導計画作成へ！

＜事例＞太郎くん（4歳児）は、登園準備や給食準備の時、気になることがあると動作が途切れてしまうため、時間がかかり、次の活動に遅れてしまいます。特に、登園準備は、他の児が遊んでいるので、気になって仕方がない様子です。

- ・ 絞り込まれたチェック項目 (22) 登園、降園の支度や給食の準備など一連の動作が途切れやすい
- ・ 要因や気持ち 朝の支度の手順がわかりにくい？ 刺激に弱い？
- ・ 目標 担任と一緒に、朝の支度ができる

期間	具体的な指導方法	
5/7 ↓ 2W 10回	<p>＜環境の整えとクラス全体の支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の支度が1ヶ所のできるように、コーナーを設定する。(コップ置き場、タオル掛け、出席シール等)(クラス全員の支度が終わったら、担任が所定の場所に移動させる。) ・他児の遊んでいる姿が、刺激となり、注意がそれてしまわないように、コーナーを壁向きに設定し、横についたてを置く。 ・朝の支度の手順を書いて示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">あさのしたく</p> <ol style="list-style-type: none"> ①タオルをかける ②コップをおく ③シールをはる ④かばんをおく ⑤ブロックであそぶ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・個人用の手順カードを作成し、使いたい子どもは使えるように、用意する。 (文字と絵をいれたカードを一枚ずつめくりながら朝の支度ができるようにする) ・支度が終わったら、好きな遊びができるようにする。 	<p>＜個別の支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の支度が終わったら、「ブロックで遊ぼう」と本児が好きな遊びができることを伝えて、期待を持たせる。 ・担任は、本児の近くで、注意がそれてしまう前に、声をかけて、朝の支度をうながす。 ・個人用の手順カードを見せて、朝の支度の手順を伝える。 ・本児のよい姿を具体的にほめる。

県外との関わり ～多くの自治体から関心を寄せていただいています～

- ・あすなろ学園視察
 - ・静岡県御殿場市 ・静岡県磐田市 ・静岡県袋井市 ・長野県飯田市 ・長野県阿智村
 - ・岐阜県 ・岐阜県岐阜市 ・滋賀県守山市 ・宮崎県都城きりしま支援学校
- ・発達チェックリスト(CLM)とDVD「わかりやすい個別の指導計画のたて方」の送付先
 - ・埼玉県 ・奈良県橿原市 ・新潟県妙高市 ・静岡県駿東郡長泉町 ・福井県敦賀市
 - ・静岡県磐田市 ・滋賀県守山市 ・長崎県医療センター ・岐阜県加茂郡坂祝町 ・岐阜県関市
 - ・大阪府寝屋川市 ・愛知県一宮市 ・滋賀県近江八幡市

2012年3月23日

＜発行＞三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ
 〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL: 059-234-8700 FAX: 059-234-9361
 MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/